

人権月間の取組をお知らせします①

今月は人権月間（11月10日～12月12日）です。「人権意識の高揚を図り、一人ひとりを大切に
した学校を自分たちの手で作り上げていこうとする児童を育てる」ことをねらって、取組を進め
ています。この期間に、以下のような取組を進めていきます。

◇取組① 校長講話◇

人権月間の開始日の11月10日（月）の朝自習の時間に校内放送で、人権月間の取組に向け
て話をしました。「友達や自分のいいところを見つけて、みんなが楽しい海東小」にしてしましょ
う！と投げかけました。詳細は、以下の通りです。

今月は、校内人権月間です。みんなの人権について考える期間です。みなさんは、人権ってどんな
ことだと思いますか？一般的には、「誰もが生まれながらに持っている、人間が人間らしく幸せに生き
ていくための権利である」といわれることがありますが、低学年の人には、少し難しいですね。学校
にあてはめて考えると、みんなの人権を大切にしていけることができれば、「みんなが楽しい海東小学校」
にすることができる、校長先生は考えています。だから、この人権月間のお友達の人権について考
える時間を大切にしてほしいと思っています。

ところで、今週の水曜日は、1年生から5年生までの人は、午前中授業で給食を食べてから帰りま
したよね。実は、その日6年生の人権学習のお勉強を他の学校の先生方がみに来られました。その日
のお勉強は、クラスのみんなに「思いを伝え合う」時間でした。今まで伝えられなかった思いを伝え、
その思いを受け止め、返しをしていく時間でした。自分のきつかったことを伝えることは、とてもた
いへんな事だと思います。しかも、たくさんの先生方が来られている中で話すことは更にたいへんだ
ったと思いますが、6年生のお兄さんお姉さんたちは、一生懸命自分の思いを伝えてくれました。聞
いている人たちも、しっかりと思いを受け止め、自分のこととしてしっかりと考え、返しをしてくれま
した。校長先生は、その6年生の姿を見て心が震えました。すごいなあと思いました。また、仲間の
ことを大切にするために必要なことを話し合いの中からたくさん学びました。6年生の皆さん、あり
がとう。その中から、校長先生が大切だなあと思ったことを、いくつか紹介しますね。

○仲間としてつながり合うためには、相手の思いを知ること、受け止めることが大切。その為に話
し合あうことが必要だと思う。

○悪いところ見ていくのではなく、いいところを見ていくことが大切。そんな見方をしていきたい。

○みんながいいところを見ていけるようになったら、いじめとかもなくなるのではないかなと思う。

相手の思いを知ることが大切ということと友達のいいところを見ていきたい、この2つのことが、
特に校長先生が6年生から学んだことでした。他の学年の人は、聞いてみてどうですか？どんなこと
を感じましたか？お友達のいやなところや悪いところは見えやすいですが、いいところは見えにくい
ことかもしれません。お友達のいいところを見ていこうとすることがお友達の人権を大切にするこ
とにつながりますよね。でもなかなか難しいと思う人がいるかもしれません。そんな人は、6年生の話
し合いの中で出ていた「授業中の友達へのアドバイスを悪いところを言うのではなく、いいことを伝
えるようにしていきたい」という意見を参考にしてみてください。

そして、いいところを見つけることについて、校長先生からひとつアドバイスをさせてください。
いいところがあるのは友達だけでしょうか？そうですね、いいところや素晴らしいところは自分
にもありますよね。自分はできない、苦手だとか、悪いところにばかり目を向けず、こんなことがで
きるようになったとか他の人にはない自分のいいところ見つけてみてはどうでしょう。人と比べて苦
手なことを気にするのではなく、できなかったことが少しでもできるようになった頑張りや自分の個性
を大切にする事が、自分の眠っている力（可能性）を引き出すパワーになりますよね。でも、自分の
いいところを自分で気づくことは、難しい事かもしれません。そんな時は、周りの友達が「頑張っ
ていたね」とか「すごいね」と教えてくれたら気づくことができるし、言われた人もうれしいし自信が
つくと思います。思い出してみてください、人の力の話のときの先輩「あみつくん」も、先生から「水
泳上手ね」と言われたことがきっかけでしたよね。そんなことが、海東小でも起こったら嬉しです。

今月の人権月間に向けて、先日の6年生の人権学習のことから話をしました。他の学年の人体も担
任の先生と一緒に、お友達の人権について考える学習にこれから取り組むと思います。学年に応じて、
みんなですっかり話し合ってください。そして、「みんなが楽しい 海東小学校」にしていきましょう。